

全国膠原病友の会 山口県支部会員の皆様

全国膠原病友の会 山口県支部  
支部長 大木 容子

暖かい陽ざしと共に花の便りが聞かれる頃となりました。会員の皆様におかれましては健康やかにお過ごしのこととお喜び申し上げます。

今年うれしい驚きは、アメリカのニューヨーク・タイムズ紙が発表した「2024年に行くべき52カ所」の第3位に山口市が選ばれたことです。世界各地の都市の中で「西の京」が高評価されたことは山口県にとって一番のサプライズではないでしょうか。

そして「ゴジラ・マイナスワン」のアカデミー賞受賞！山崎監督の「We did it」の言葉も感動的でしたね。これから心地よい季節に出かけてリフレッシュしましょう。

さて昨年11月に、はじめて山口大学附属病院 膠原病内科主任で助教の名和田隆司先生にご講演をいただきました。講演では、患者個人に合った膠原病の治療目標の設定がいかに重要であるかをさまざまな観点からお話いただきました。年齢や病状によって一人一人に違いがあり、薬の長期使用の問題点や長期予後の改善と健康の維持の目標を持つことが膠原病患者に求められていて、病気の進行に伴って治療を考えていく必要があるということがよくわかりました。

令和6年度総会講演会は下記のとおり開催いたします。講演会は、野島内科医院院長で広島大学病院の客員教授 野島崇樹先生にご講演いただく予定です。交流会もありますのでこの機会にぜひご参加ください。

## 全国膠原病友の会山口県支部 総会・医療講演会

日時 6月23日(日) 9時 25分より

場所 山口グランドホテル 2F(新山口駅新幹線口前)

総会 9:25～ 講演会 10:00～11:40

講師 野島内科医院

(広島大学病院 リウマチ・膠原病科 客員教授・臨床教授)

理事長・院長 野島 崇樹 先生

演題 令和時代の SLE マネージメント

6月23日(日)

交流会 12:15~

参加費 1,500円程度

会場:日本料理みやび(B1)



講演: 名和田 隆司先生 11月19日

**事務局より: 会費の納入について ご協力のほどお願いします。**

友の会は、皆様の会費によって運営されています。年会費は、3,600円です。

内訳は、本部負担金1,800円、支部負担金1,800円となっております。

尚、令和5年度会費のお振込がまだの方は、今月中にお振り込みをお願いします。

未納の会員さまには、振込用紙を送付させていただきます。

〈窓口での振込〉 同封の振込用紙の振込で、現金又は通帳・カード支払いができます。

〈郵便局 ATM でのお振込み〉 同封の振込用紙を使って、現金又は通帳・カード支払いができます。

〈郵貯の口座からの送金〉 ATM を使用し、郵貯口座から他の郵貯口座に送金することができます。

郵貯口座から ATM の入力による振込は下記の記号・番号です。

振込口座: 記号 15540 番号 17221421 ゼンコクウゲンビョウトモノカイ ヤマガチケンジブ

振込用紙による、郵便振替口座は 01380-3-27901 加入者名 全国膠原病友の会山口県支部

ご不明な点などございましたら、下記までお問い合わせ下さい。

支部長 大木 容子 〒755-0026 宇部市松山町2-5-7 TEL 090-7130-6938

事務局 伊藤 千恵 〒753-0871 山口市朝田 384-11

☆☆ 顧問の先生方にご寄付をいただきました ☆☆

ふくたクリニック院長  
済生会山口総合病院  
わただ内科  
ジョイひふ科クリニック  
宮里クリニック

福田 信二 先生  
久保 誠 先生  
綿田 敏子 先生  
西岡 和江 先生  
宮里 肇 先生



いつも変わらず、会へのご支援をいただき誠にありがとうございました。  
会の活動に有効に活用させていただきます。